

平成15年度 活動実績

月日	活動計画	月日	活動計画
15年 4月	10日(木) 常任理事会(事業活動計画、収支予算案作成と役員名簿のチェック) 21日(月) 理事会(同上) 25日(金) 総会(役員・事業活動計画・収支予算の承認)	10月	※共同募金運動の推進 4日(土) ※第37回各務原市社会福祉大会 12日(日) お年寄りを囲む食事会 19日(日) ※那加三小校区・市民運動会とふれあいフェスティバル(チャリティバザー) 25日(土) ※那加三小教育ステーション(5年生体験学習「車椅子で街に出よう」)
5月	※日赤社員募金の推進 16日(金) 近隣ケア・グループ代表者の研修と座談会 (市高齢福祉課・市社協・支部役員・民生委員)	11月	1日(土) ※各務原市制40周年記念式典 3日(祝) 子供とお年寄りが一緒にハイキング、芝生の上でゲームと体操(雨で中止)
6月	27日(金) ※出前講座「介護予防教室」 (転倒予防体操・筋力アップなど)	12月	(初旬) 那加三小児童による寝たきりや独居の老人さんに年賀状の発送 7日(日) 歳末たすけあい特別事業「福祉座談会」 分科会「65歳以上の独り暮らしの方」 「70歳以上の夫婦のみの世帯」 「寝たきり老人の介護者」
7月	(中旬) ・那加三小児童による寝たきりや独居老人さんに暑中見舞発送 ・那加中1年生に福祉ポスター募集 22日(火) 小学生の車椅子とアイマスク体験と座談会 26日(土) 親子ふれあいの会(映画会)「新ちゃんがない！」	16年 1月	17日(土) 民生委員による寝たきり老人とその介護者への友愛訪問
8月	※社協会員・会費募集の推進 10日(日) ※親子ふれあい盆おどり大会 19日(火) 常任理事会及び支部だより編集委員会	2月	12日(木) 常任理事会及び支部だより編集委員会 24日(火) 会計監査
9月	7日(日) ※第22回各務原市福祉フェスティバル 15日(月) 支部だよりNo.31発行 27日(土) 理事会(前期の反省と後期の日程) 常任理事・民生委員・近隣ケアグループ代表者による「お年寄りを囲む食事会」の打ち合わせと準備会議	3月	15日(月) 理事会・支部だよりNo.32発行 19日(金) 総会

(註・16年2月24日以降は予定)

平成15年度 収支決算書(見込)

収入の部 (金額単位=円)

科目	予算	収入済額	差額	備考
1 交付金	397,000	393,000	△4,000	会員納入額の40%還元
2 メニュー事業助成金	362,800	*328,860	△33,940	
1) 機関紙発行・支部だより	129,900	*127,560	△2,340	助成金1部30円×(世帯数+100部)×2回
2) お年寄りを囲む会	83,500	88,500	5,000	助成金(1人500円×人数)
3) 福祉座談会	36,400	15,800	△20,600	助成金(1人200円×人数)=2回分
4) 高齢者健康づくり教室	10,000	0	△10,000	助成金(講師料)
5) 親子ふれあいの会	16,000	16,000	0	助成金 フィルム借用料
6) ふれあいいいききサロン	87,000	81,000	△6,000	助成金 南栄町・新那加町=サロン
3 特別事業助成金	100,000	*44,520	△55,480	助成金 歳末福祉座談会・コミュニティ会議
4 繰越金	854,301	854,301	0	前年度繰越金
5 雑収入	5,150	*5,090	△60	お礼金・預金利息
合計	1,719,251	*1,625,771	△93,480	

支出の部 (金額単位=円)

科目	予算	支出済額	差額	備考
1 事務費	35,000	*32,457	2,543	事務用品・写真代・コピー代・監査費
2 共通実施事業	262,000	*236,161	25,839	
1) 福祉教育事業	62,000	51,380	10,620	暑中見舞:年賀状・910枚購入(小学生福祉ポスター・賞状・賞品代(中学生))
2) 友愛訪問事業	80,000	74,038	5,962	寝たきり老人見舞い品:介護者慰問品
3) 支部育成事業	120,000	*110,743	9,257	総会:理事会:役員会:編集委員会
3 メニュー事業	572,000	*480,643	91,357	
1) お年寄りを囲む会	200,000	166,650	33,350	お土産代・弁当代・食材料代・お礼
2) 親子ふれあいの会	43,000	38,220	4,780	フィルム借用料:ジュース代
3) 福祉座談会	65,000	33,073	31,927	近隣ケアグループ代表:小中学生:子供と老人:との座談会:弁当・お茶代
4) 機関紙発行・支部だより	162,000	*161,700	300	31号:32号・発行(2,200部)×2 印刷代
5) 高齢者健康づくり教室	15,000	0	15,000	(中止)
6) ふれあいいいききサロン	87,000	81,000	6,000	南栄町・新那加町=サロン 助成金
4 歳末たすけあい・特別事業	100,000	*77,447	22,553	歳末福祉座談会・コミュニティ会議
5 その他の事業	115,000	86,644	28,356	
1) 啓発事業	100,000	73,500	26,500	シャープペン(ネーム入り・1,000本)購入
2) ふれあい事業	5,000	3,682	1,318	小中学生の福祉を学ぶ会:ジュース代(アイマスク:車椅子体験学習)
3) 生活環境づくり事業	10,000	9,462	538	老人会:追悼法要(ご仏前) 介護講習会:ジュース代
(支出額計)	1,084,000	*913,352	170,648	
6 予備費	635,251	*712,419	△77,168	(次年度繰越金 712,419)
合計	1,719,251	*1,625,771	93,480	(収入済・支出済欄の*印は見込み額)

社協 那加三支部だより

平成16年3月15日 No32

編集・発行 各務原市 社会福祉協議会 那加三支部

学校訪問

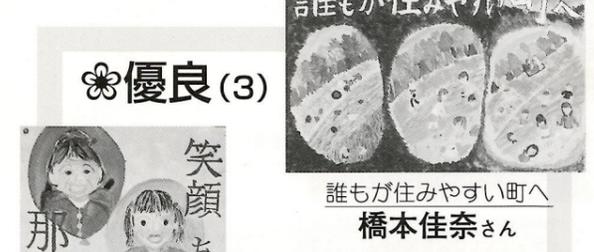
那加中学校

◆1年生の皆さん。全員、福祉ポスターに応募して下さい、ありがとう。

◆皆さんの作品は、各町内の掲示板や「高齢者を囲む食事会々場」に展示させていただきました。



小さなボランティア 福祉へ
小島沙織さん



笑顔あふれる那加の街
今尾瑞季さん



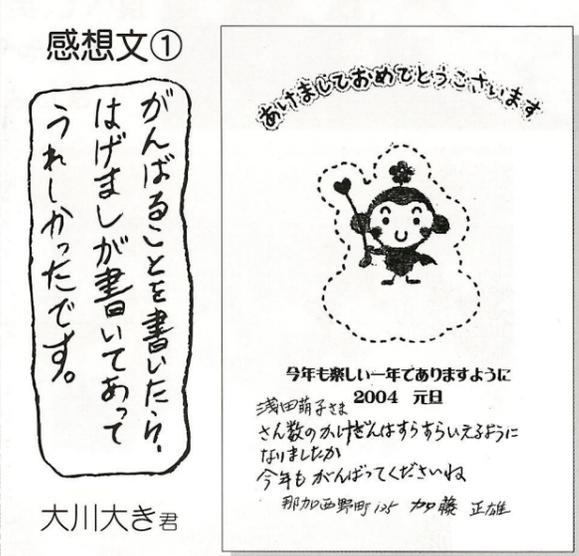
那加三小学校

小学生の皆さん。

◆校区の、寝たきりや独り暮らしのお年寄りさんへ、昨年も、夏には暑中見舞、年末には年賀状を送って下さって、ありがとう。ご苦労さんでした。

◆お年寄りの方から、お礼の年賀状がたくさん送られてきました。下に2例だけ、紹介します。

受けとった子の感想文も、のせてみました。



元気・蘇った 平成15・10・12/東亜町会館いっぱい 80歳以上のお年寄りと65歳以上の独居の方を囲む食事会

総出席者

- お年寄り (107)
 - 近隣ケアグループ(代表) (11)
 - ボランティア (23)
 - 民生委員・役員 (35)
- 計 176名



▲民生委員や近隣ケアの皆さん、受付・配膳など大奮闘！▲



◀ご苦労さま

お待たせ
お年寄りさん
食べて、笑って！
おしゃべり
しましょう！



▲踊って！(那加豊常会)



▲妙なる音・大正琴(アンダンテ)



▲歌って！懐かしの名曲(ブルー・ベレーズ)



◀幕間のひと休み、
みんなで愉快地手指の体操



▲手品もあり！(みんなのマジック・各務原)



▲飛び入りも、まだあり。すばらしかった！

平成15・10・19 那加三 市民ふれあいフェスティバル



開会式(合いことば)
“笑顔あふれる元気な街・那加三校区”

人文字で
くっきり
なか三
(中日新聞の航空写真)



▲チャリティバザー 校区の皆さんから出していたいただいた品々(那加三小体育館あふれるばかり)▲



「車いすで街に出よう」 平成15・10・25/校区内各コース 那加三小教育ステーション・5年生の体験学習



▲出発前に注意を聞く

◆車いすの取扱いについては、
前もって、体育館で市社協からの指導をうけた。
グループごとの計画にもとづき、保護者の皆さんと街に出た。

体験感想…5年生の皆さんから

- ①街中での運転は、体育館とは異なり、大変疲れた。
・ふだん全く苦にならぬ道路のデコボコ、歩道の傾き、段差に苦労した。
- ・踏切は恐くて、介助の人に頼んだ。
- ・車いすでも通り易い道にして下さい。

- ②介助について……よそ見も、しておれないことがわかった。
- ・車いすを運転する人だけでなく、介助の人にも不便なことが、街には多いとわかった。

体験感想…同行の親さんから

- ①こういう学習活動は、とても有意義。ぜひ続けてほしい。
- ②車いすで生活してみえる方の不便さ、苦労がわかったと思う。子供にとって大切な体験でした。子供がすすんで手を貸すようになると思う。優しい心を持つと思う。
- ③親子での体験がよかった。子供と一緒に楽しかった。子供の様子がよくわかった。
- ④福祉関係の体験をどんどん取り入れて下さい。子供たちが障害のある方に対して、少しでも優しい気持ちで接し、ボランティア精神に目ざめてくれることを期待したい。
- ⑤車いすの人が注意しているだけでなく、周りの環境が障害者に優しくないといけない。

～素晴らしい体験でしたね～

「どうしたら、いいの?こんな時」 平成15・12・7/特別事業
質問・提言・要望さまざまに…『福祉座談会』

始めに、市社協の若尾専門員さん(那加三支部担当)から「介護保険について一介護サービスを受けるには…」のお話を聞きました。このページでは略しますが、関心を持っておられる方は、ぜひ町内の民生委員さんにおたずねください。当日、3つのグループに分かれて、身近かなご意見で話し合いをしました。

① 65歳以上独り暮らしの方グループ



独居の方…………… 15名
支部役員…………… 7名
近隣ケアグループ… 4名

「まず、日常生活の中で、困っていること、悩んでいること、不安なことなどを話していただきました。」

- ◎配食の時間が早い。日曜日は不規則なので困る。味つけが合わずに、辞退した人もある。年齢や嗜好など調査してやってもらえたら、ありがたい。
- ◎緊急電話について→年ごとに申請する。携帯電話は便利といわれるが、私には使いづらい。
- ◎車いすを利用したいが、どこに頼むか?→民生委員に尋ねるか、社協に依頼する。など…
- ☆まとめて、近所の方とのふれあいが大切で、声かけなど交流を密にする。

② 70歳以上の夫婦のみの世帯グループ



高齢夫婦の方…… 13名
支部役員…………… 4名
近隣ケアグループ… 8名

「日常生活の中で、心がけておられることを話していただきました。」

- ◎カルチャーセンターへ通い、趣味を楽しんでいる。趣味については、夫婦といえども違うことが多い。お互いに干渉せず、個人を大切にしている。
- ◎野菜作り(無農薬)、園芸。二人で散歩や、自分に合う旅行プランで実行している。野菜作りでは、食べきれず、人にあげることが多い。花苗なども交換して、会話がはずみ、楽しい。
- ◎くよくよせず、のんびりした生活をしている。
- ◎同年齢の人との会話も楽しいが、反面、若い人との交流も必要だと思う。
<心配なこと> ①将来動けなくなったとき、施設に直ぐ入れるか。②年金が少なくなっていく?

③ 家庭で介護をしている世帯グループ



介護の方…………… 5名
支部役員…………… 4名
近隣ケアグループ… 5名

「日頃の介護のようすを、話していただきました。」

- ◎93歳男性の介護 — 介護保険を使い、週3回 つつじ苑、美谷苑を利用。元気だが、しもの世話が大変。こういう会に出てお話をきき、参考にしたい。
- ◎86歳女性の介護 — 一応、自分のことは自分でできる。8人家族なので、代ってもらえるからありがたい。
- ◎93歳女性の介護 — 自分で食事はとれるが、全然歩けない。お風呂などが大変なので、ショートステイで、つつじ苑にお世話になっている。

(4ページの③続き)

◎84歳男性(夫)の介護——69歳で脳血栓を発病、以来15年余り介護。食事は自分ででき、お酒もたしなむが、歩行は杖が必要。夜のトイレが4~5回、付き添うのが大変。近くに住む息子や嫁がよく協力してくれるので助かる。

〈心がけたいこと〉

◎介護で一番困る『しもの世話』——特別な講習会をお願いします。

◎足が悪くなった——(即)→車いす。やがて、ベッドへ……という道を安易に決めないで!

☆本人の自立を目指し、それぞれの過程で、探せば色々な手段や補助具があります。よく調べ、工夫し、本人にとっても、介護者にとっても、よりよい毎日が送れるよう、努める必要があります。

平成16・1・17

民生委員による寝たきり老人とその介護者への友愛訪問



▲民生委員さん、ご苦労さま。よろしくお願ひします。

今回は、寝たきり老人さんが22名おられます。家族の方の手厚い介護で、毎日、元気になっておられます。那加三支部からは、民生委員さんが

お菓子包み
果物券
ティッシュペーパー

→を持って、お見舞いに行きました。皆さん、お元気でした。

地域コミュニティ会議を開く

(地域福祉活動計画づくりのための地域懇談会)

とき:平成16・2・23 午後6時~8時 ところ:那加南福祉センター

テーマ〈私たちの住む地域を考えてみよう!〉

支部の理事と各種団体代表の皆さん、33名参加して熱心に話し合い。

◆地域で困っていることや不安なことはないでしょうか

- ◎困ったときに相談のできる人が近くにいますか。
- ◎困っている声をききますか。
- ◎地域の人が気軽に集まって話をする機会がありますか。

◆地域で活動する上での問題や困っていることは?

- ◎近所に気がかりな方がいますか。どのような援助ができますか。
- ◎近隣のつながりや声かけはありますか。

◆あなたの「地域福祉」に対する考えをお聞かせ下さい。

◆支部社協の活動について

- ◎皆さん、よく知って見えますか。
- ◎こういう活動をしてほしい!

